

世界と共に持続的な成長を

当社グループは、「共存共栄を基本理念とし、社業を通じて社会公共の福祉に貢献する」という経営理念を継承してまいりました。この理念は、大正13年に制定された経営方針がもとになっており、大正期にあって先人は「経営は公器である」と明言し、「社会との共存共栄」を掲げておりました。今日まで受け継がれてきた「人や社会と協調し、企業活動を通じ豊かな社会づくりに貢献する」という考え方は当社グループの企業活動における根幹となっています。この考え方を基軸として、これからも世界のステークホルダーと共に持続的に成長する企業グループを目指し、企業としての発展を継続させるとともに、世界に広がる社会的責任に応え、皆様に一層の信頼をいただけるよう努めてまいります。

事業活動を通じ人々が 安心して豊かに暮らせる社会づくりを

当社グループの中核事業を支える塗料は、被塗物の「保護」と「美観」の観点から、目立たないながらもわたくしたちの生活を支える、社会に対する貢献度が高い製品です。錆などの腐食から社会のインフラストラクチャーを守ると同時に、日常生活に彩(いろどり)を与える塗料を幅広い分野に提供する総合塗料メーカーとして、私どもは長い歴史を重ねてまいりました。

商品やサービスなどの事業活動を通じお客様に信頼され、人々がより豊かに暮らせる社会づくりに貢献できるよう、塗料や塗装の可能性を高める取り組みを今後も進めてまいります。

経営ビジョン

- 我々は、塗料をコアに、優れたスペシャリティケミカル製品とサービスを提供し、お客様に満足と感動を届けます。
- 我々は、世界各地域の文化と人々の価値観を尊重し、グローバルに成長します。
- 我々は、果敢にチャレンジする人材が集まり、いざいぎと働ける企業風土を追求します。

スローガン

Toward Next Stage!
～Global Paint Majorへのチャレンジ～

持続的な成長にむけて

2014年に当社グループは持株会社体制に移行するとともに、アジア合弁事業の50年来のパートナーであるWuthelam Holdingsとの協業関係をさらに深化させました。2015年4月からは中核4事業会社を発足し、それぞれの事業や地域のビジネスモデルに応じた成長施策を実現する体制を構築しました。さらに、それらを基盤に企業活動を展開する将来のゴールとして「グローバルペイントメジャーになる」、すなわちコーティングおよびその関連事業がそれぞれのグローバル地域でリーディングポジションを獲得できている姿を目標とする中期経営計画を策定し、目指すべき姿やその道筋をより明確にしました。また、その中期経営計画の着手にあたって経営ビジョンを下記のようにあらためました。

真のグローバル企業グループとして

将来のゴールであるグローバルペイントメジャーの実現には、当社グループが真のグローバル企業となり、世界中のステークホルダーから認めていただける「人と風土」を構築することが不可欠です。世界各地域において果敢にチャレンジを続け、その地域の文化や人々の価値観を尊重し、信頼関係を構築する企業風土、文化の創造は当社グループの成長戦略を加速させ、将来のゴールにむけての道筋になります。

業界のリーディングカンパニーとして、世界と共に持続的に成長する企業グループとして、これからも事業活動や社会活動を通じ世界中に満足と感動を届け、持続可能な社会に向けて様々な価値を提供してまいります。

本書がステークホルダーの皆様方に当社グループのCSR活動をより良く理解いただく一助になりましたら幸いです。

代表取締役社長

田堂 哲志

